

開催実施要項

- 1 大会名 令和5年度福岡県高等学校テニス新人大会中部ブロック予選会
(兼全国選抜高等学校テニス大会福岡県中部ブロック予選会)
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟・福岡県教育委員会
- 3 後援 福岡県テニス協会
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟中部ブロックテニス専門部
- 5 期日
(1)開会式 令和5年9月9日(土)8時45分
(2)競技 令和5年9月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、18日(月祝)、23日(土)、24日(日)、
30日(土)
(3)閉会式 令和5年9月24日(日)(競技終了後、直ちに行う)
※試合開始時間は大会期間を通して9時
※競技日程は、別紙参照。(顧問会議にて配布)
- 6 会場 福岡市青葉公園テニスコート(9月10・16日)
(福岡市東区青葉4丁目 TEL092-691-5725)
福岡県営春日公園テニスコート(9月9・10・16・17・18・23・24日)
(春日市原町3-1-4 TEL:092-573-4200)
福岡市西部運動公園テニスコート(9月30日)
(福岡市西区飯盛385 TEL:092-811-5625)
- 7 競技規則 日本テニス協会テニスルールブック2023による。(ドロー編成・登録上の規定等については「新人大会予選会の組み合わせに関する規定」を使用する。)
- 8 競技方法
[団体の部]
(1)シングルス3名・ダブルス2組による対抗トーナメントとし、3ポイント先取したチームを勝ちとする。試合はすべて1セットマッチ(6-6タイブレーク)で行う。
(2)各校最初の試合は原則として5ポイントすべて行うが、天候等の関係で勝敗決定後打ち切る場合がある。
(3)登録順位(ランキング)の決定にあたっては、本大会個人シングルの登録順を基本として、7~9名を登録する。ただし、本大会個人シングルのベスト8を上位とすること。なお、シングルスとダブルスの重複はできないものとする。
(4)部員数が7名に満たない場合は、別に定める不戦敗規定に従うことを条件に4~6名での参加を認める(単複は重複できない)。上位大会への進出も認める。
[個人の部]
(1)シングルス本戦は32ドロー、ダブルス本戦は24ドローとし、シングルス、ダブルスともに本戦出場決定者以外による予選を行う。(シングルス、ダブルスともに予選通過者数は顧問会議で連絡する)
(2)予選・本戦ともすべて1セットマッチ(6-6タイブレーク)で行う。
※進行の都合により団体戦・個人戦とも競技方法を変更することがある。
- 9 引率・監督
(1)引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。
(2)監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。
- 10 参加資格
(1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(2)選手は本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得たもの。
(3)福岡県テニス協会に登録された者(チーム)であること。(団体の部出場校にのみ適用)
(4)年齢は2005年(平成17年)4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(5)チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。

- (6)統廃合の対象となる学校は、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7)転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)
ただし、一家転住等やむを得ない事由による場合はテニス専門委員会で調査し高体連会長の承認があればこの限りではない。
- (8)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9)その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (10)参加資格の特例
- ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外、(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。
 - ウ. 学年の区分を設けてある課程に在席する生徒の出場は、2学年までとする。

11 参加制限

[団体の部]

- (1)各校とも男女別に1チームまでとする。

[個人の部]

- (1)各校とも出場できる選手数・組数は、シングルスでは規定によるDAの選手+5名まで、ダブルスでは規定によるDAの選手+4組までとする。ただし、ダブルスのDA対象の組を崩して登録しても、DAの数が増加することはないものとする。(DA対象の選手は別紙参照)
※2023年度福岡県総体予選中部ブロック予選会個人ダブルスにおいて、3年生のみからなるペアが本戦に出場した学校は、出場できる組数を1組加算するものとする。(対象校は別紙参照)

12 参加申込

- (1)高体連の参加申込書に記載されている生徒個人情報について
 (利用目的等)・大会競技プログラムまたは福岡県高体連ホームページへの掲載
 ・参加資格の確認(年齢・転校等)
 ・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表することとする。
 参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。
- (2)個人の部については下記のア、イの両方を行い申し込むものとする。団体の部については団体戦初日の朝、大会本部に提出する(顧問会議の際に参加・不参加を確認する)。
- ア ネットによる申込(申込書ファイルを電子メールに添付して送信)
 送信先 ogawa.chubutennis.from2021@gmail.com
締切日 令和5年8月25日(金)13時まで(時間厳守)
 ※ファイル名は必ず「〇〇(校名)男子参加申込書.xlsx」などとする。
 - イ 参加申込書の提出
 顧問会議の受付の際に提出する。(9月6日(水))

13 個人情報及び肖像権について

上記取り扱いについては、高体連HP「個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に記載のとおりとする。

14 表彰 団体の部・個人の部とも第3位まで賞状を授与する。

15 取得制限 男女とも団体の部5位、個人の部シングルス8位、ダブルス4位までが県大会に出場する。

16 会議

- (1)専門委員会 令和5年8月28日(月)13時00分 西南学院高等学校・会議室
- (2)顧問会議 令和5年9月6日(水)15時00分(受付14:30)
 福岡県立スポーツ科学情報センター 視聴覚室
 (福岡市博多区東平尾公園2-1-4)
- (3)代表者会議 大会期間を通して大会本部前で8時40分より(会場・日程の都合により変更あり)

17 その他

- (1)ユニホームはテニスウェアに限る。右胸に校名を付けること。
 ※服装規定については、JTAルールブックの「服装規定」に準ずる。
- (2)ボールは個人戦のシングルス・ダブルスへの出場数に応じた数のボールを指示された日に大会本部に提出すること。提出日・ボールの数は顧問会議で伝達する。なお、ボールについては、男女ともにウィルソンエクストラデューティ(2球入)を提出すること。

- (3)雨天の場合でも、開始時間前に集合すること。
 (4)原則として敗者審判で行うので、選手は審判ができる技能をもって参加すること。
 (5)参加申込書提出後の選手の変更は原則として認めない。

※問合せ先 西南学院高等学校 小川 竜紀 連絡先 092-841-1317

令和5年度福岡県高等学校総合体育大会中部ブロック予選会 個人の部 結果

男子シングルス

成績	学校	選手名	学年
1位	筑陽学園	大原 大知	2
3位	筑陽学園	高木 琉偉	2
4位	筑陽学園	大野 孔雅	2
5位	筑陽学園	力武 朋也	1
6位	筑陽学園	黒木 奏志	1
8位	筑陽学園	坪田 稜生	1
ベスト 16	福岡	菊竹 烈	2
	筑陽学園	戸次 祥大	1
	城東	小林 洸士郎	1
	筑陽学園	宇野 孝太郎	2
	筑紫丘	岩本 翔広	2
ベスト 32	福岡	中野 一平	2
	福岡	吉野 陽翔	2

男子ダブルス

成績	学校	選手名・学年1		選手名・学年2	
1位	筑陽学園	大原 大知	2	坪田 稜生	1
2位	筑陽学園	宇野 孝太郎	2		
3位	福岡	菊竹 烈	2		
4位	筑陽学園	高木 琉偉	2		
ベスト8	筑陽学園	大野 孔雅	2		
ベスト 16	城東	梁瀬 大地	2		
	西南学院	宮迫 蒼空	2		
	福岡中央	高屋 翔大	2		
	城東	尾畑 翔	2		
	筑陽学園	戸次 祥大	1	戸次 大翔	1

女子シングルス

成績	学校	選手名	学年
3位	筑陽学園	松岡 菜里	2
4位	筑陽学園	藤井 柚	2
5位	福岡	和田 夏歩	2
6位	筑陽学園	毛利 空	2
8位	第一薬科	逆瀬川 美冬	2
ベスト 16	福岡	ブリッチャード 百恵	2
	第一薬科	木村 英梨加	1
	第一薬科	久津間 千紗	2
	第一薬科	松村 幸季	2
	筑陽学園	山下 真璃亜	2
ベスト 32	第一薬科	吉武 莉菜	1
	福岡	松本 季実果	2
	筑陽学園	石井 蒼空	1
	柏陵	山脇 菜々恵	2
	福岡	加茂尾 凜	1
	第一薬科	石崎 空乃	2
	福岡	小西 菜桜	1

女子ダブルス

成績	学校	選手名・学年1		選手名・学年2	
2位	筑陽学園	松岡 菜里	2	毛利 空	2
3位	第一薬科	逆瀬川 美冬	2	木村 英梨加	1
4位	福岡	ブリッチャード 百恵	2	和田 夏歩	2
ベスト8	筑陽学園	石井 蒼空	1		
	筑陽学園	藤井 柚	2	山下 真璃亜	2
	福岡	小西 菜桜	1	松本 季実果	2
ベスト 16	城東	西面 日陽里	2		1
	福岡	池田 弥令	2	加茂尾 凜	1
	第一薬科	久津間 千紗	2	石崎 空乃	2
	修猷館	吉村 未空	2	堤 涼音	2
	筑陽学園	大橋 ひまり	1	藤木 優衣	1
	第一薬科	松村 幸季	2	吉武 莉菜	1

※ダブルスの選手名・学年の空欄については3年生を除外したものである。

ダブルスで本戦出場の3年生ペアがいた学校

【男子】

春日、中村三陽、城東、九州、西南学院、修猷館、上智福岡、福大若葉

【女子】

第一薬科、西南学院、修猷館、筑前、福岡雙葉、筑陽学園、福大若葉、筑紫丘、春日

不戦敗規定

第45回全国選抜高校テニス大会における団体戦不戦敗規定に準じ、対戦校の一方または両方の登録選手が7名に満たない場合の勝敗を以下のようにする。

A(登録人数) vs B(登録人数)	勝敗
A(7～9) vs B(7～9)	全ポイント行い、3勝した方の勝ち
A(7～9) vs B(6)	S3はAの不戦勝からスタートする
A(7～9) vs B(4～5)	S3、D2はAの不戦勝からスタートする
A(6) vs B(6)	S3は行わず、2勝2敗となった場合は①②の順に高い方の勝ち ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合はS1勝者のチームの勝ち
A(6) vs B(4～5)	S3は行わず、D2はAの不戦勝からスタートする。 2勝2敗となった場合は①②の順に高い方の勝ち ①取得セット率 ②取得ゲーム率 ①②ともに同じ場合はS1勝者のチームの勝ち
A(4～5) vs B(4～5)	S1・D1・S2を行い、2勝した方の勝ち